



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成30年
11月26日
第5号

2学期も残り1ヶ月ほどになりました。学期を終えるにあたっては、次の学期につながるよいまとめをすることが大切です。そして、まとめを行った後には、子どもたちの小さな成長を見逃さず、認めること、褒めることを意識すると、より次の学期の意欲につながると思います。

これから先生方はますます、忙しくされることと思います。急な寒さで体調を崩されないようにお気を付けてください。



つながろう♪～第8回 廿日市市中学校「夢・つながり」合唱祭～

11月14日（水）さくらびあ大ホールで中学校音楽部会と市教委が主催した「夢・つながり」合唱祭が開催されました。

宮島中学校の廣畑大輔さんの堂々とした司会進行のもと、会場内には美しい歌声が響き渡りました。この日に向けて、仲間とともに練習に励んできた生徒達の様子が伺えるすばらしい合唱でした。そして、その生徒達のがんばりを支えたのは、音楽部会を中心とした先生方です。この合唱祭を成功させた裏には、各校での合唱指導、当日の準備や運営等に携わってくださった先生方のご尽力がありました。歌を通して、生徒と生徒、生徒と先生の心がつながり、その歌声は私達に感動を与えてくれました。

これからも、こうした取組を通して、生徒が仲間を思いやり協力することの素晴らしさや、音楽の楽しさを感じられるようになることを期待しています。



【中学校音楽部会の先生方】



【全体合唱の指揮】



【絵：七尾中学校2年生 串田美緒さん】

・力強い歌声だった。これまで練習に励んできたことが伝わってきた。
・私達も3年生になったら皆さんを目標にしてきれいな歌声を響かせるようになりたい。

【他校の合唱に対する生徒の感想】

教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります～子ども、先生方を支える職員の仕事紹介～

今年度より、市内小・中学校に4名の**教務事務支援員（市費）**を配置しています。今回は、佐方小学校で勤務している教務事務支援員さんにお話をうかがいました。



佐方小学校で教務事務支援員をしている**中宮麻美**さんは、今年度4月より勤務されています。今まで事務職に携わることが多く、その経験をいかし「縁の下の力持ち」的な存在になりたいと思いこの職を始められたそうです。ところが、教務事務支援員になって初めて先生方、特に教頭先生の業務量の多さにびっくり。今ではその莫大な業務量を少しでも軽減することが、ご自身のモチベーションになっているとのこと。

「先生方に仕事を頼んでもらえるようになりたいのですが、そのためには信頼を得ることが大事だと思います。いろんなことを察するように心がけています。」と、主体的に先生方の支援に向き合っておられます。

- 主な業務内容は、
- ◆各種プリント印刷→仕分け→学級毎のボックス配付
 - ◆学校だより等の発送事務
 - ◆收受文書等のファイリング
 - ◆電話・来客対応、接待
 - ◆検診結果等の転記
 - ◆ゴム印の押印
 - その他、何でもやります!!

教頭先生より 今まではある程度の時間を要する事務作業を行うためには、勤務時間外にしかできませんでした。それが、教務事務支援員さんが配置されてから劇的に変わりました。

中宮さんは、仕事が正確で限られた時間の中でもスケジュールを管理しながら業務を遂行されています。しかも、効率的な方法を考え、提案し、実行されます。本当に学校を支えてくださることに感謝しかありません。



児童生徒の 学ぶその姿から

—吉和小中学校の取組より—

10月5日（金）に吉和小中学校地域公開研究会が開催されました。児童生徒がいろいろな場面で「主役」となる研究会でした。特に、公開授業後の「児童生徒発表」「ルバーブソース試食会」では、児童生徒の活躍の場がたくさんありましたので、紹介します。吉和の特産物「ルバーブ」を商品化し販売することを通して、「ふるさと吉和」の魅力を伝えたい！という子供たちのふるさとに対する強い思いが育っていることを実感しました。

総合的な学習の時間：「ルバーブソースの商品化」に向けた取組を通して

ルバーブの栽培



栽培方法に地域の方に教えていただいたことを生かして、自分たちの学校の畑で、実際にルバーブを育てました。



ルバーブ

「ルバーブソース」商品化

実際にルバーブソースを商品化するために、「どんな容器が適しているか」「どんなラベルなら買いたくなるか」「どんなレシピが考えられるか」などについて、みんなで試行錯誤しながら考えました。



「ルバーブソース」販売

中学3年生が修学旅行先でルバーブソースを販売しました。吉和の魅力をしっかり伝えながら販売しました。



試食会（地域公開当日）

【児童生徒発表】

ルバーブソースは、ほどよい酸味があって、ヨーグルトにかけて食べるとおいしいです。ルバーブジャムもおすすめです。



👉「夢・つながり」合唱祭で「宝」みつけました

11月14日（水）に行われた「夢・つながり」合唱祭で見つけた「宝」をご紹介します。

（その1）日常との「つながり」Ⅰ

横断歩道で生徒の誘導をしていると、爽やかな挨拶が返ってきました。その中でも「ありがとうございます。」と自然と感謝の気持ちを伝えられた生徒がいました。

（その2）日常との「つながり」Ⅱ

合唱以外の場面で黙って整然と歩く、姿勢よく座って話を聞く等、日頃学校で意識していることが、学校以外でも自然にできる・・・そんな立ち居振る舞いの素敵な学校がありました。



つながれ！ 広がれ！ 「宝」の山

（その3）相手の気持ちとの「つながり」

合唱を聴いて他校の生徒が感想を述べる場面がありました。緊張のためか、ある生徒が言葉に詰まってしまいました。少し会場がざわついたのですが、近くにいた他校の生徒が「こういうことってあるよね。」「がんばれ！」と感想を述べている生徒の気持ちに共感し、励ましの声をかけていました。その声が届いたのか、その後、生徒は持ち直して最後まで感想を述べることができました。

（その4）学年の「つながり」

ある学校では、代表になったクラスに他のクラスの生徒達が寄せ書きを書いてエールを送っていることを知りました。寄せ書きに込められた温かい励ましの言葉の数々。そんな学年みんなの思いを受け止めた生徒達。本番では、まさに代表としてふさわしい堂々とした発表でした。

廿深!!『学びの変革』⑤

「ふるさと学習」のさらなる充実を！！

前の記事にあった吉和小・中学校のみならず、各学校において、総合的な学習の時間を中心に、様々な指導の工夫がなされた「ふるさと学習」が展開されていることと思います。「ふるさと学習」は、児童生徒のふるさとへの愛着と誇りを育てていくために、学校の全教育活動を通じて計画的・系統的に取り組むことが大切です。

そこで、学習指導要領総則編に示されている「カリキュラム・マネジメント」の三つの側面からこの「ふるさと学習」の学びを整理しました。平成30年11月7日付け通知『「ふるさと学習報告書」の作成について』により、カリキュラム・マネジメントの三つの側面に照らした「改訂版：記入上の留意点」を通知しましたので、意識して今後の取組を進めてください。

【カリキュラム・マネジメントの三つの側面】（「総則」より）

- ◆ 児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を**教科等横断的な視点**で組み立てていくこと。
- ◆ **教育課程の実施状況を評価**してその改善を図っていくこと。
- ◆ 教育課程の実施に必要な**人的又は物的な体制を確保**するとともにその改善を図っていくこと。

「ふるさと学習報告書」の作成について（記入上の留意点より）

- ◆ 「他教科との関連」については、**どのような学習内容を関連させたのか**、また、教科で身に付けた**どんな力を活用させたのか**等について記述する。
- ◆ 「児童生徒の変容」については、**学習の前と後での変容**を具体的に記述する。
- ◆ 「成果と課題」については、次の2点を留意する。
 - ・ **本単元における指導上の工夫**が「ふるさと廿日市」への愛着や誇りを持たせる上でどのように効果的に働いたか。
 - ・ 「他教科との関連」や「地域人材の活用」が、児童生徒の主体的な学びを促すのに、どのように効果的に働いたか。等